

女流義太夫

竹本駒之助

文楽人形

吉田和生

—人間国宝の競演—



人形浄瑠璃公演

ろうべんすぎのゆらい

良弁杉由来 「二月堂の段」



第一部 人形浄瑠璃公演

「良弁杉由来 二月堂の段」

太夫 竹本駒之助
三味線 鶴澤津賀花

人形 渚の方 吉田和生
良弁僧正 吉田玉佳
他

第二部 人間国宝対談

竹本駒之助×吉田和生

第六回 酒都で聴く女流義太夫の会

2022.8/28[日]

白鷹緑水苑 宮水ホール

14:30 受付開始・開場 15:00 開演

入場料 8700円 *蔵出し限定酒(平常時)などのワンドリンク付き

全席指定(88席)

収容人数を限定しておりますので、満席の際はご容赦ください。
お申込みについて詳細は裏面をご覧ください。



お申し込み 白鷹緑水苑

TEL:0798-39-0235 <http://www.hakutaka-shop.jp/>

©三宅晟介

吉田文雀師 七回忌によせて

文雀・駒之助両師による
文楽人形・女流義太夫共演の軌跡を辿る

江戸時代中期に生まれた「女流義太夫」は、人形浄瑠璃文楽や歌舞伎で演奏される義太夫節に対し、役者や人形を伴わない、語りと三味線のみによる「素浄瑠璃」という形で芸が継承されました。この伝統に対し、女流義太夫に文楽人形を伴って上演するという画期的な試みが、かつて大阪で行われていました。当時関西の女流義太夫で活躍し、一座を組んだ興行により、興行主としても手腕を発揮していた竹本三蝶が、戦前から1960年代にかけて、吉田栄三、文五郎といった錚々たる人形遣いの面々と共に、人形浄瑠璃公演を定期的に開催していたのです。そこに参加していたのが、当時若手だった文雀師と、三蝶一座に加わっていた駒之助師でした。

2008年、久しく途絶えていた文楽人形と女流義太夫の共演が、東京にて文雀師と駒之助師により復活しました。その後、2018年には、ここ白鷹緑水苑にて、駒之助師と和生師で実現し、以来、兩人間国宝による競演は今回で三回目となります。

今年八月、白鷹緑水苑恒例の文楽公演、「酒屋万来文楽」に初回からご出演いただいた文雀師の七回忌を迎えるにあたり、文雀師と駒之助師の六十余年にわたる長きご縁によって約五十年ぶりに実現した、記念すべき人形浄瑠璃公演の演目、「良弁杉由来二月堂の段」を取り上げます。当時文雀師が遣った渚の方を、今回は和生師が遣い、女流義太夫の振興にも協力を惜しまなかつた文雀師を偲ぶとともに、お二人を通しての、文楽人形と女流義太夫共演の軌跡を辿りたいと思います。公演後の第二部では、お二人による対談形式で、文雀師の思い出も交え、関西におけるかつての女流義太夫界、文楽界、また両者の交流についてなど、貴重なお話もお待ちいたします。

「良弁杉由来 二月堂の段」 あらすじ

大聖人として誉の高い良弁僧正は、日課としている二月堂への礼拝の折、堂前の杉に向かい、我が身の上に思いを馳せ、この世に生を与えてくれた父母を慕って涙にくれる。そこで目に入ったのが、木に張られた書き物。あたりを探索せ連れりながら、たのみすばらしい老婆だったが、如意輪観音のお守りが証拠となつて、実は母親だとわかり、渚の方と僧正は三十年ぶりの再会を果たす。

お座席指定について

受付時の混雑をさけるため、全指定席とさせていただきます。座席数僅少のため、左記の点にご留意、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

- *お申込み受付後、ご入金順に前列中央から、左右両側へ順番にお座席指定させていただきます。
- *個別のお座席指定及びお申込み時のお座席確認には、ご対応できませんのでご了承ください。
- *お申込み後、当方よりお席確保の連絡をさせていただきますので、その後にお支払いをお願いいたします。
- *お支払い期限(当方よりご連絡させていただいた日から数え、金融機関休業日も含めて7日以内)を過ぎてもご入金を確認できなかった場合、自動的にキャンセル扱いとなりますのであらかじめご了承ください。
- *チケット番号はお座席番号でもありません。

お客様へのお願い・お断り

*37.5度以上の発熱があるお客様、咳、くしゃみ、喉の痛み等の症状があるお客様はご来場をご遠慮ください。
*マスク未着用のお客様のご入場はご遠慮いただきます。
*会場内でのお客様同士の会話はお控えください。
*当ホールは厚生労働省が推奨する必要換気量を満たす換気装置を備えています。また念のため、空気清浄機を設置し、会場入口扉及び天窓の一部を開放しております。
*換気音や若干の生活音がいたしますが、ご了承ください。
*白鷹緑水苑のイベント・講座は、感染症対策を講じた上で開催しております。詳細はホームページをご覧ください。

蔵出し限定酒 ショップ 美禄市 11:00~19:00

蔵出し一献 日本酒酒房 **蔵BAR** 12:00~17:00 (土日祝のみ営業)

旧き良き 暮らしの美 **暮らしの展示室** 11:00~18:30 見学無料

伝承の灘酒 その技法 **白鷹集古館** 11:00~18:30 見学無料

パティオホール レンタルスペース **宮水ホール** 茶室 **悦庵**

鰻料理 懐石料理 東京 **竹葉亭** 西宮店 11:30~14:30(土日祝11:00~15:00) 17:00~21:00 TEL:0798-37-3939



白鷹緑水苑
灘酒文化の発信地
[本物主義] 昔も今も、これからも。

ご予約・お問い合わせ **白鷹緑水苑** (11:00~19:00 1・3水曜定休)
Tel. 0798-39-0235 Fax. 0798-39-0236

前売チケットは白鷹緑水苑にて販売中。申込み用紙にてFAXあるいは郵送で、またはHPよりご予約いただいた後、**お申込み受付時(当方よりご連絡させていただいた日)から数えて7日以内**に下記口座へお振込ください。振込確認後にチケットを郵送させていただきます。*銀行営業日、振り込み反映日にご注意ください。

三菱UFJ銀行 西宮支店 普通 4608446 ニシノミヤハツイマデントウ

- *恐れ入りますが、振込手数料はご負担いただけます。*お振込先が白鷹緑水苑ではございませんので、ご注意ください。
- *前売券発売の場合、当日券の販売は中止とさせていただきます。*購入後のキャンセル不可です。
- *公演中止の場合、チケット代金は返金させていただきます。尚、お振込み手数料のご返金はご容赦願っております。

インターネット予約はこちら <https://hakutaka.jp/shop.html>



「2022年 第六回 酒都で聴く女流義太夫の会」お申し込み用紙 Fax. 0798-39-0236

氏名	ふりがな	電話
住所	〒	
メール	FAX	
指定席 () 枚		*ご予約・お座席指定等に関する上記内容を事前にご確認の上、お申込みください。 *《お客様へのお願い・お断り》もご確認ください。



〒662-0926 兵庫県西宮市鞍掛町5-1
TEL0798-39-0235 FAX0798-39-0236
E-mail: rokusuien@hakutaka-jp



阪神西宮駅南へ徒歩8分